

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年5月29日(2008.5.29)

【公開番号】特開2006-325875(P2006-325875A)

【公開日】平成18年12月7日(2006.12.7)

【年通号数】公開・登録公報2006-048

【出願番号】特願2005-152893(P2005-152893)

【国際特許分類】

A 6 1 B 8/12 (2006.01)

A 6 1 B 5/07 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 8/12

A 6 1 B 5/07

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月10日(2008.4.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

体腔内に導入されるカプセル本体に、該カプセル本体が一度使用されたものであるか否かを識別する使用状況識別手段を設けたことを特徴とする医用カプセル。

【請求項2】

前記使用状況識別手段は、

前記カプセル本体の表面に設けられて、使用状況を告知する告知手段と、

前記カプセル本体に設けられた前記告知手段を覆い隠すように設けられ、水分と接触することによって溶出されて前記告知手段を出現させる薄膜部と、

を具備することを特徴とする請求項1に記載の医用カプセル。

【請求項3】

前記薄膜部は、所定の色素を含有して非透明であることを特徴とする請求項2に記載の医用カプセル。

【請求項4】

前記使用状況識別手段は、カプセル本体が、検査前状態であることを告知する、水分と接触することによって溶出される薄膜部材であることを特徴とする請求項1に記載の医用カプセル。

【請求項5】

体腔内に導入される、表面に使用状況を告知する告知手段を有するカプセル本体と、このカプセル本体の有する前記告知手段を覆い隠すように設けられ、水分と接触することによって溶出される非透明に構成された薄膜部と、を具備することを特徴とする医用カプセル。

【請求項6】

体腔内に導入されるカプセル本体の表面に、水分と接触することによって溶出される薄膜部材で使用状況を告知する告知部を設けたことを特徴とする医用カプセル。

【請求項7】

体腔内に導入されるカプセル本体に、該カプセル本体の使用状況、被検者名、バッテリ残量のうち少なくともいずれかの情報を告知する告知手段を設けたことを特徴とする医用

カプセル。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項1に記載の医用カプセルは、体腔内に導入されるカプセル本体に、該カプセル本体が一度使用されたものであるか否かを識別する使用状況識別手段を設けている。

この構成によれば、カプセル本体に設けられた使用状況識別手段を確認することによって、使用前の状態であるか、使用前とは異なる状態であるかの判別を行える。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項5に記載の医用カプセルは、体腔内に導入される、表面に使用状況を告知する告知手段を有するカプセル本体と、このカプセル本体の有する前記告知手段を覆い隠すように設けられ、水分と接触することによって溶出される非透明に構成された薄膜部と、を具備している。

請求項6に記載の医用カプセルは、体腔内に導入されるカプセル本体の表面に、水分と接触することによって溶出される薄膜部材で使用状況を告知する告知部を設けている。

請求項7に記載の医用カプセルは、体腔内に導入されるカプセル本体に、該カプセル本体の使用状況、被検者名、バッテリ残量のうち少なくともいずれかの情報を告知する告知手段を設けている。